

長期志向の投資家を 引きつけるIRコミュニケーションとは？

— 資本市場との対話の重要性を知り、効果的に実践するために —

グローバルに投資を行う国内・海外機関投資家等から、今後の日本市場の先行きや投資家と企業との関係のあり方に多大な関心と期待が寄せられています。

投資家との対話(エンゲージメント)やコーポレートガバナンス・コードに焦点を当て、企業の中長期的な価値創造を伝えるために何が求められるのか、国内の専門家を迎え、多様な角度から、講演をしていただきます。

セミナー後半には、資本市場と建設的で効果的な対話を実践するための実務上の課題について、投資家・専門家を迎え、来場者の皆様からのご質問に、ライブでお答えする機会をつくりました。

日 時 2015年 2月 24日(火) 13:35~17:30 (受付開始13:00)

会 場 ベルサール九段(4階) Room4

東京都千代田区九段北1-8-10 住友不動産九段ビル

(アクセス: http://www.bellesalle.co.jp/room/bs_kudan/access.html)

○「九段下駅」7番出口:東京メトロ東西線、5番出口:東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄新宿線

○「神保町駅」A2出口:東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄新宿線・三田線

対 象 上場企業のIR、広報、経営企画、経理・財務部門の担当役員及び担当者の方

定 員 100名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

受講料 ¥5,000 (日本IR協議会の会員企業様は¥3,000にてご参加いただけます。)

出演者 堀江 貞之氏 野村総合研究所 上席研究員 金融ITイノベーション研究部
松原 稔氏 りそな銀行 信託財産運用部企画・モニタリング グループリーダー
渋谷 健氏 コモンズ投信 取締役会長、シブサワカンパニー 代表取締役
辻本 臣哉氏 ニッポンライフ・グローバル・インベスターズ・シンガポール CEO
小澤 ひろこ氏 国際統合報告評議会(IIRC)リージョン・リード 日本

主 催 株式会社エッジ・インターナショナル

後 援 日本IR協議会

お申込み

参加ご希望の方は、氏名、会社名、所属部署、役職、Eメールアドレス、電話番号を明記の上、seminar@edge-intl.co.jpまでお申し込みください。(尚、JIRAの会員企業様はその旨、併せてお知らせください。)折り返し、振り込み先などをご連絡致します。

お問い合わせ先 03-3403-7750 (株式会社エッジ・インターナショナル セミナー事務局:岡田、江森)

| | | |
|---------------------------|-------------|---|
| ごあいさつ (5分) | 13:35~13:40 | エッジ・インターナショナル 代表取締役 梶原 伸洋 |
| 講演Ⅰ (講演60分/ 質疑応答5分) | 13:40~14:45 | <h2 style="color: red;">2つのコードが変わる投資家と企業との関係</h2> <p>野村総合研究所 上席研究員 金融ITイノベーション研究部 堀江 貞之氏</p> <p>1981年、同社入社。1986～88年、ニューヨーク事務所勤務、オプション・モデル等を開発。1996～2001年、野村アセットマネジメント。過去33年にわたり、証券アナリストジャーナル、企業年金、年金と経済等の専門誌に数多くの論文を発表。GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)運用委員長代理、大阪経済大学大学院客員教授、AIMA-Japan調査委員長、公的・準公的資金の運用・リスク管理等の高度化等に関する有識者会議委員(2013年7～11月)、日本版スチュワードシップ・コードに関する有識者検討会委員(2013年8月～2014年2月)、コーポレートガバナンス・コードに関する有識者会議委員(2014年8月～)、年金積立金の管理運用に係る法人のガバナンスの在り方検討作業班委員(2014年11月～)。</p> |
| 講演Ⅱ (講演30分/ 質疑応答5分) | 14:45~15:20 | <h2 style="color: red;">日本版スチュワードシップ・コードの現状 ～運用機関の取り組み例～</h2> <p>りそな銀行 信託財産運用部企画・モニタリンググループ グループリーダー 松原 稔氏</p> <p>1991年、同社入行、年金信託運用部配属。以降、投資開発室、公的資金運用部、年金信託運用部、信託財産運用部、運用統括部で運用管理、企画を担当。2009年4月より現職。2000年、年金資金運用研究センター客員研究員。2005年、年金総合研究センター客員研究員。日本証券アナリスト協会検定会員、日本ファイナンス学会会員。日本証券アナリスト協会セミナー企画委員会委員、投資パフォーマンス基準委員会委員、企業価値分析におけるESG要因研究会委員。社会的責任投資フォーラム運営委員。MPTフォーラム幹事、PRI(国連責任投資原則)日本ネットワークコーポレートワーキンググループ議長。</p> |
| 休憩 20分 | | |
| 特別企画 (110分) | 15:40~17:30 | <h2 style="color: red;">資本市場との建設的で効果的な対話に向けて ～会場からのご質問に答えて</h2> <ul style="list-style-type: none"> ● 良い投資家に巡り合うためには? 良い投資家をどう見分けたいか!! ● ここだけは押さえたいエンゲージメントの向き合い方とは? ● 中長期的な価値創造を認識させる効果的な方法とは何か?…等 <p>当日、来場者の皆様からのご質問をお待ちしております。</p> <p>出演者 野村総合研究所 上席研究員 金融ITイノベーション研究部 堀江 貞之氏 コモンズ投信 取締役会長、シブサワカンパニー 代表取締役 渋澤 健氏 ニッポンライフ・グローバル・インベスターズ・シンガポール CEO 辻本 臣哉氏</p> <p>司会 国際統合報告評議会(IIRC)リージョン・リード 日本 小澤 ひろこ氏</p> <p>渋澤 健氏</p> <p>1983年テキサス大学化学工学部卒業。1987年UCLA経営大学院にてMBA取得。1987年ファースト・ボストン証券会社(NY)、1988年JPモルガン銀行(東京)を経て、1992年JPモルガン証券会社(東京)、1994年ゴールドマン・サックス証券会社(東京)、1996年ムーア・キャピタル・マネジメント(NY)。2001年シブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業し、2007年コモンズ株式会社を設立(2008年コモンズ投信株式会社に社名変更、会長に就任)。経済産業省・東証証券取引所「なでしこ銘柄」選定基準検討委員会委員、内閣府「女性が輝く先進企業表彰」選考委員会委員、経済産業省「健康経営銘柄」選定基準検討委員会委員。近著『渋沢栄一 明日を生きる100の言葉』(日本経済新聞出版社・2013年)、『渋沢栄一 愛と勇気と資本主義』(日本経済新聞出版社・2014年)ほか。</p> <p>辻本 臣哉氏</p> <p>1989年、東京海上火災保険入社。1991年東京海上MC投資顧問に移り、アナリスト業務を開始。2001年、明治ドレスナー・アセットマネジメント入社。同社調査部長を経て、2007年、RCMアジアパシフィック(在香港、現アリアンツ・グローバル・インベスターズ)にアジア地域の調査統括として入社。2011年、ニッセイアセットマネジメントに移り、運用企画部審議役兼株式運用部担当部長。2012年、ニッセイ・シュローダー・アセットマネジメント・アジア(2013年、ニッポンライフ・グローバル・インベスターズ・シンガポールに社名変更)出向。2013年より現職。CFA協会認定証券アナリスト、日本証券アナリスト協会検定会員。主な著書『金融サービス業のガバナンス』(共著、きんざい)、主な論文「女性役員と企業パフォーマンス」(証券経済学会年報第48号)、「国内株式およびアジア株式における絶対収益追求型運用の可能性」(日本証券アナリスト協会創立50周年記念懸賞論文)ほか。</p> <p>小澤 ひろこ氏</p> <p>会計監査法人系コンサルティングファームにて、企業買収および事業再編のアドバイザリー業務を経験後、新日本有限責任監査法人入所。同法人にて、主に企業報告、リスクマネジメント、コンプライアンスに関する各種アドバイザリー業務を経て、2012年5月より国際統合報告評議会(IIRC)に出向。</p> |